

2025 年度 一般型入試 第IV期
公共 解答用紙

受験番号

【I】

問1 ア

問2

解答のポイント

まずは、女性議員が少ないという現状をきちんと問題として把握しているかが問われる。その上で、日本の議会における男性中心の文化、女性議員に対するケア労働のサポートの少なさ等の言及がなされているかどうか。

問3

解答のポイント

賛成・反対どちらでも構わない。むしろ重視する点は、自身の主張に関して、きちんとした理由あるいは根拠に基づいて、一貫した説明を提示しているかをみる。

問4

解答のポイント

生物学的な性 sex に対して社会的に構成されたジェンダー gender という点がきちんと定義されているかどうか。その上で、平等ということが単に「同じように扱う」だけでなく、これまで社会的に不利益を受けてきたジェンダーマイノリティに対して十分な保障がなされているということ（これは公共の扉におけるジョン・ロールズの的な平等観をきちんと理解しているかということも問うものである）を見る。

【Ⅱ】

問1 イ

問2

解答のポイント

ICTが多様なコミュニケーションを促進するための媒体であることを理解しているかどうか。加えて、ICT技術によって国境を超えた（時に顔の見える）コミュニケーションが可能となったことが言及されているかどうか。

問3 A 南北 B 南南

問4

経済のブロック化

解答のポイント

特定の国や地域が互いに緊密な経済圏を形成し、自国と関係の深い国同士の貿易を優先して、他の国からの輸入を締め出す政策という教科書の説明に準ずるものが記載されているかどうか。

モノカルチャー

解答のポイント

単一の作物を大規模に栽培するというポイントが記載されているかどうか。そのメリットとデメリットが書かれているとさらに加点となる。

【Ⅲ】

問1 ウ 問2 ア 問3 ア

問4

解答のポイント

SDGsの趣旨を理解し、貧困を単に「お金がない」という状態だけでなく、差別などの構造的な問題や環境問題などにもかかわる複雑な問題であることを理解した上で、適切な政治的なアプローチが考えられているか。場合によっては、仮想的なアプローチが書かれていても良い（ベーシック・インカムなど）。

「公共」出題の意図

まずは、教科書の基本的な事項（特に教科書で太字にされている点）について、単にそれを暗記するだけでなく、それを自分の言葉で説明できるか、あるいはそれに対して自分の意見を主張することができるかを重要なポイントとした。また、教科書にも書かれており、かつ時事的に重要とされている論点（たとえば「ワークライフバランス」や「気候変動問題」）などについての広い視点を問う問題も出題している。この点に関しては、日頃からニュースや新聞を読み、時事問題についての新書を読むなどといったことを出題者として期待している。第4期では特定の情報を踏まえた上で回答者の論理的な考えを求めるような出題を多めに設定している。